

4
月
号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 **ふじの良次**

県政
レポート

Vol.

154

2025年
4月号



令和7年度当初予算と一般質問

報告! 「2月定例県議会」

2月25日開会の「定例県議会」は、総額5千636億5千700万円の令和7年度当初予算案及び総額127億8千1百万円、総額278億7百万円の補正予算案を始め、条例案、契約・計画案、監査委員の選任案など88議案を可決。“新政なら”から提出した「公立小中学校における学校給食の無償化を求める意見書」を採択し、3月25日に閉会しました。

新年度予算については、予算案に盛り込まれた「日韓交流事業費」3千200万円を削除する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決。

(ふじの良次は修正案に反対・当初予算に賛成)

同事業は、県と忠清南道友好提携15周年を記念したイベントで、昨年12月の県議会に関連予算約2億7千万円が提案され、賛成多数で可決されました。しかし、野外に

おけるK-POPアーティストによる無料コンサートの開催では、どうしても高額な経費が必要となるため、山下知事に対して、会場の見直しなどによる費用圧縮を求める要請・要望を、私も含む賛成した議員で2度にわたって行いました。知事もそのことを重く受け止め、内容を見直すとともに予算を9分の1の約2千900万円に圧縮して、改めて当初予算に計上されました。今後の日韓関係の安定的な発展と若い世代の理解による“未来志向の交流事業”に期待を持ちながら、事業の行方を見守りたいと思います。

さて、新年度の主な事業ですが、防災力の強化においては、県消防防災ヘリコプターの新機体の購入費(26億9千1百万円)や広域防災拠点(五條市県有地)整備費、救急医療管制システム更新費が挙げられます。また、高校授

業料の無償化、トイレの洋式化・乾式化や特別教室・体育館への空調設備の設置など県立高校の環境改善に向けた取り組み。介護予防の充実や介護ロボットの導入促進、介護人材の確保・定着に向けた取り組み。医療分野においては、西和医療センターの移転整備に係る予算が盛り込まれています。

その他、県中央卸売市場再整備推進事業では、市場エリアの整備事業者募集や用地買収・北側用地の造成に向けた実施設計などの費用、令和13年の国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会開催に向けた費用などが計上されています。

今後、それぞれの事業や施策の進捗状況を確認しながら、取り組みの充実や政策の提言・提案を行ってまいりたいと思っています。ご支援よろしくお願いいたします。

ふじの良次ホームページ

<https://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。



ふじの良次 政務活動事務所

大和郡山市筒井町673-3

TEL 59-5155 FAX 59-5158

・近鉄筒井駅下車、北へ徒歩2分

・事務所、西向かいに駐車場があります



技能労務職員のあり方について

【問】技能労務職の安定した採用は、技術力の維持や公共の責任を果たすためにも重要なことであり、増員も含めた職員のあり方についてどのように考えているのか知事の所見を伺いたい。

【知事】行政サービスの質の確保や、安定的な人材の確保、各職場の実態、技能労務職員のモチベーションの維持などにも配慮しつつ、各職場が社会情勢に沿った持続可能な業務体制となるよう、職員の採用等を含めて、都度、判断していきたい。

奈良公園周辺の
オーバーツーリズム対策について

【問1】オーバーツーリズムに備え、公共交通の充実やパーク&ライドの周知及び利用促進の強化に対し県はどのように取り組んでいくのか。

【知事】「奈良公園ぐるっとバス」を運行予定。春と秋の観光シーズンに無料のパーク&ライド駐車場を開設。インターネット広告の活用も検討。ゴールデンウィーク期間中、シャトルバスの運行や、パーク&ライドを利用される方へのバスチケットの無料配布も予定。今後もオーバーツーリズムの備えとして、観光事業者等と連携しながら取組を強化する。

【問2】近鉄奈良駅周辺や、奈良公園周辺において、歩行者の安全確保のための公共交通の利用環境に向けた整備が必要と考えるが、知事の所見を伺いたい。

【知事】奈良公園を含めたエリアで、魅力的で歩きやすい空間づくりに向けて検討を進めている。奈良公園周辺の歩行空間確保については、公共交通事業者や地元の方々などと議論を深め、同公園周辺における公共交通の利用環境の向上に努めてまいりたい。

都市計画道路「城廻り線」の
早期開通について

【問】都市計画道路「城廻り線」の整備状況とともに、完成時期の目途について伺いたい。

【県土マネジメント部長】令和7年度より、現道を南側へ切り替える工事を実施、鋼矢板打設工事を進める予定。近鉄線東側では、文化財調査、水路工事、北郡山交差点の歩道整備や右折レーンを設置する交差点改良工事に着手する予定。工事の予算確保が課題であり、現時点では供用開始の時期を明言できる段階ではない。

大河ドラマ2026を契機とした
誘客促進について

【問】大河ドラマを契機とした誘客促進事業は、どのように関連地域と連携して取組を進めるのか伺いたい。

【観光局長】大和郡山市とこれらのゆかりの地の魅力をホームページやSNS、メディア等で積極的に全国に発信したいと考えている。これらの地域への周遊を促進するコンテンツづくりに市町村と連携して取り組む。また、大河ドラマの舞台となる愛知県や滋賀県とも連携し、周遊促進を図る企画を検討しているところ。大和郡山市、その他市町村や関係機関等とも連携を密にし、早め早めの積極的な誘客プロモーションを実施し、周遊や宿泊に繋がるようしっかり取り組んでまいりたい。

教員の確保について

【問1】正規教員の安定的な教員確保に加え、常勤の補充講師を迅速に任用するための取組が必要であるが、現状と今後の方向性を伺いたい。

【教育長】令和12年度に、正規教員採用人数を全国平均並に増やし、安定的な教員の確保を考えている。市町村教育委員会と連携し、退職教員への電話連絡やハローワークへの登録等を進めてきた。また、長らく現場から離れている方を対象としたペーパーティーチャー説明会を行っており、LINEを用いた講師募集や採用試験の情報を発信、Instagramを用いた教職の魅力伝えるための動画配信も開始。正規教員の確保に加え、常勤講師の確保に努めていく。

【問2】教職員定数については、義務標準法に準ずると1クラスの減少で2人定数が減少する可能性があるが、県による加配などの緩和策について伺いたい。

【教育長】義務標準法の改善については、全国都道府県教育長協議会等を通じて、国へ要望していきたいと考えている。あわせて、各学校の学級数の変化や教育課題の把握に努め、学級数に応じた教員の配置に加え、目的に応じた国の加配定数を活用することで、適切な定数配置となるよう努める。

【要 望】

奈良県中央卸売市場再整備について

※詳しくはふじの良次ホームページをご覧ください。